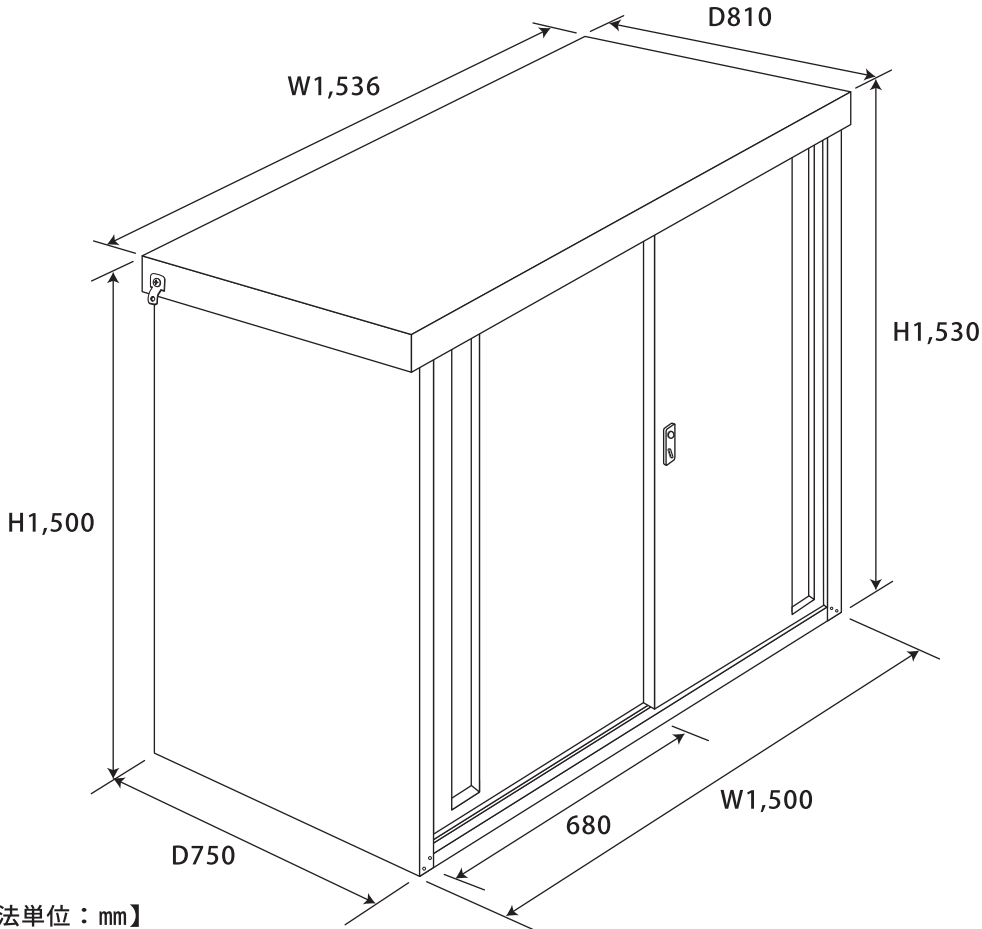


このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この組立説明書は、本製品の組み立て方と使用上の注意事項について記載しています。
組み立てる前には必ず、この組立説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しく組み立ててください。
また、お読みになった後も、この組立説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管してください。

組立説明書

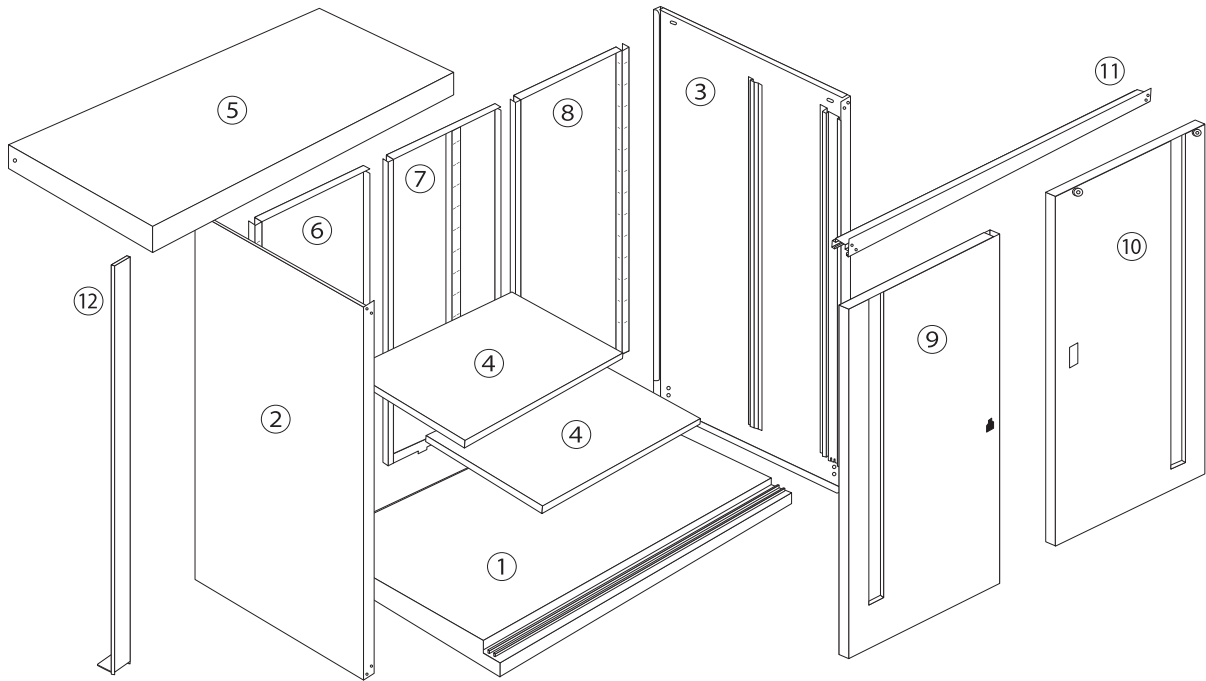


FSW34G

棚板寸法 幅744×奥行415mm
構造部材 亜鉛メッキ鋼板
表面加工 粉体塗装仕上げ
原産国 中国

部 品 内 容

組み立ての際は、電動ドライバー等は使わないでください。ビスを締めすぎると空回りする恐れがあります。
組み立ての前に部品と数量をご確認ください。組み立ての際には床を傷つけないようにダンボールなどを敷いてください。
組み立ての際には通常使用するところ以外に手が触れけがをするおそれがありますので、必ず手袋を着用してください。
組み立ての際は、必ず2人以上で作業を行ってください。



①	底 板	1
②	側 板(左)	1
③	側 板(右)	1
④	棚 板	2
⑤	天 板	1
⑥	背 板(左)	1
⑦	背 板(中)	1
⑧	背 板(右)	1
⑨	扉 (左)	1
⑩	扉 (右)	1
⑪	天レール	1
⑫	棚掛用柱	1
⑬	ネ ジ	20 (予備2)

⑭	ビ ス	30 (予備2)
⑮	転倒防止金具	2
⑯	棚受金具	8
⑰	アンカー	4
⑱	鍵	2

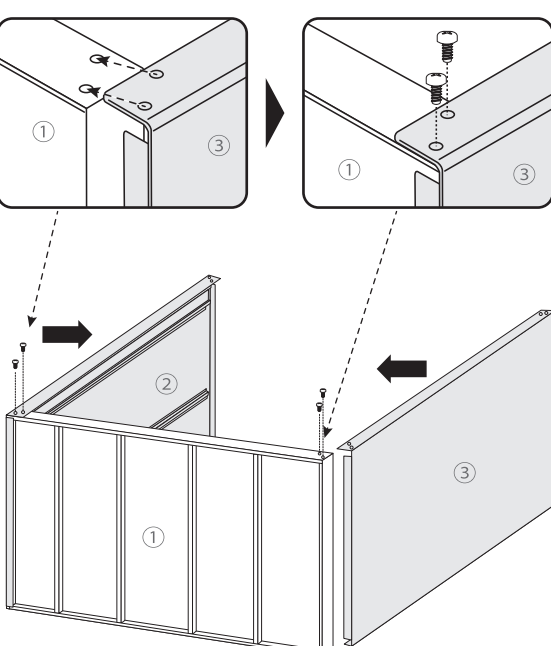
警告 記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

- ◆ 屋上、ベランダの手すり側、崖の縁等、強風により転倒や転落のおそれがある場所への設置はおやめください。
また、設置の際には必ずアンカー等により転倒しないような処置をしてください。
- ◆ 基礎用のコンクリートブロック6個をあらかじめ用意してください。
- ◆ 組立作業をする際は、必ず手袋を着用してください。【部材は全て鋼材ですので組立時に素手では、けがをするおそれがあります】
- ◆ 本体を必ず水平に設置してください。【本体が倒れてけがをするおそれがあります】
- ◆ 本体の上に乗ったり、もたれかかったりしないでください。【本体が倒れてけがをするおそれがあります】
- ◆ 連結部分は必ずしっかりと締めてください。【振動などで連結部分が外れ、思わぬけがの原因となります】
- ◆ 強風や地震に備え、転倒防止には十分にご配慮ください。【特に安全が確認できない傾斜地や屋上、高所への設置はおやめください】
- ◆ 制限荷重(棚板 耐荷重：40kg、床板 耐荷重：80kg)以上のものを載せないでください。【思わぬけがの原因になります】
- ◆ 物を本体に立て掛けないでください 【思わぬけがの原因になります】

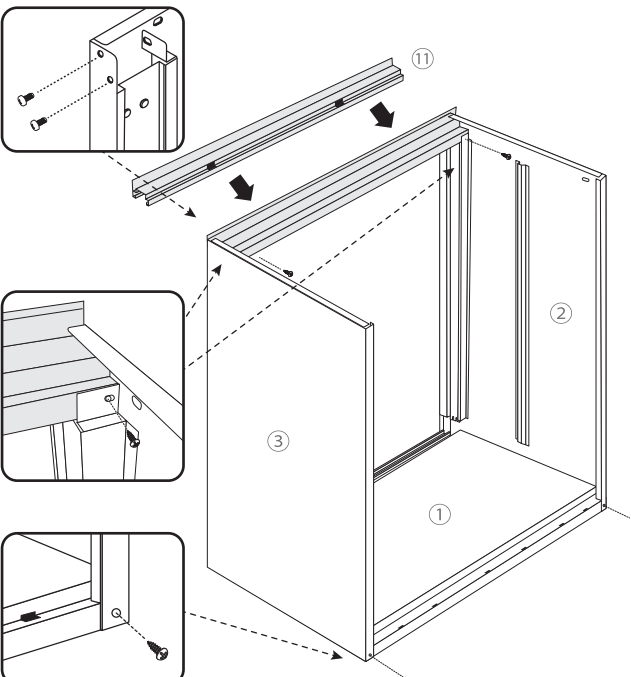
注意 記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損するおそれのあることを示します。

- ◆ 扉の開閉は必ず取手を持って行ってください。【それ以外の部分を持って開閉しますと、けがをするおそれがあります】
- ◆ 火気のそばには絶対に設置しないでください。【本体自体が燃えるおそれがあります】
- ◆ 危険物・薬品・壊れ物・生き物を入れないでください。【人体や収納物などを傷つけるおそれがあります】
- ◆ 現金や貴重品などを入れないでください。【盗難のおそれがあります。また、火災が起きた時に収納物が変質したり、燃えることがあります】
- ◆ 電気製品や湿気に弱い物を入れないでください。【庫内は外気温などにより湿度や温度が変化し、収納物が破損するおそれがあります】
- ◆ 収納物は確実に収納してください。【カギが正常に掛からなくなるおそれがあります】
- ◆ 扉などの隙間には絶対に手を入れないでください。【けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください】
- ◆ 天板の上には物を置かないでください。【転倒や落下によりけがをするおそれがあります】
- ◆ 本体に異常が見られる場合は、すぐにご使用をおやめください。【けがをするおそれがあります】
- ◆ 完全防水仕様ではございません。【雨水の浸水により収納物が濡れるおそれがあります】

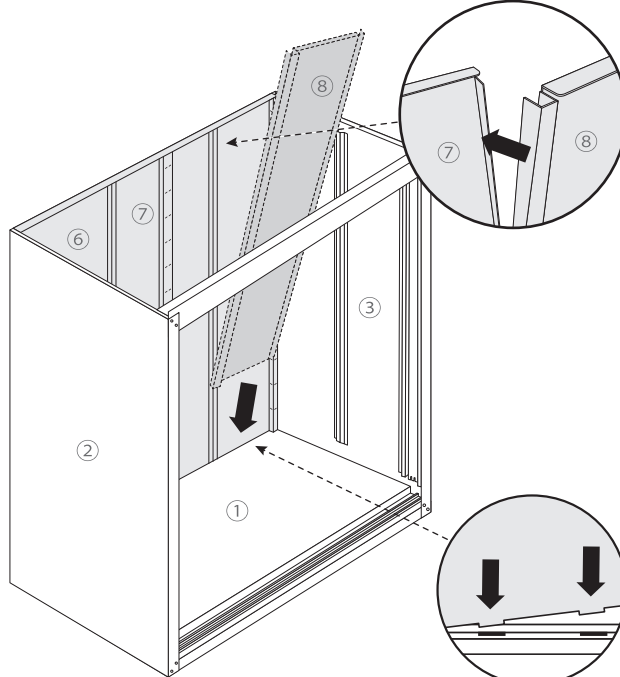
1 ①底板のレール側が上を向くように立て、②側板(左)と③側板(右)をセットし、①底板の穴を合わせて、⑬ネジでしっかりと固定します。
※ ⑬ネジ 4 箇所



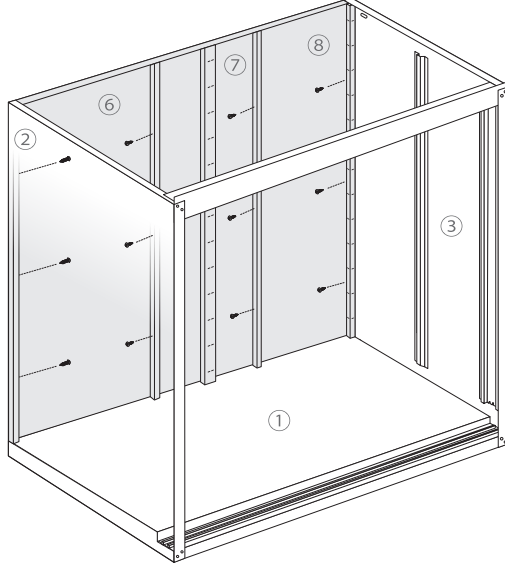
2 ⑪天レールを取付け、表面から⑬ネジで固定します。①底板の後下部から、左右の側板を⑭ビスで固定します。⑩天レールを裏側から⑭ビスで固定します。
※ ⑭ビス 4 箇所、⑬ネジ 4 箇所



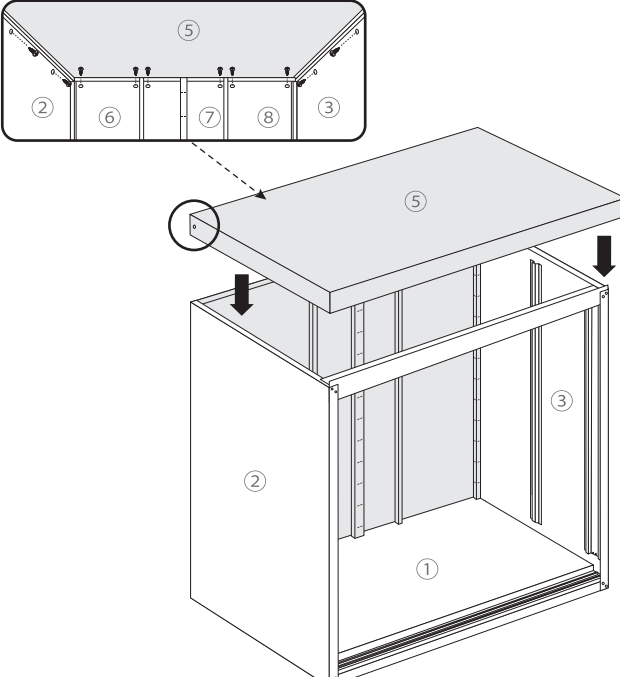
3 ⑥背板(左)から、下部のツメを①底板に差し込みます。同様に⑦背板(中)、⑧背板(右)の順に取付けます。



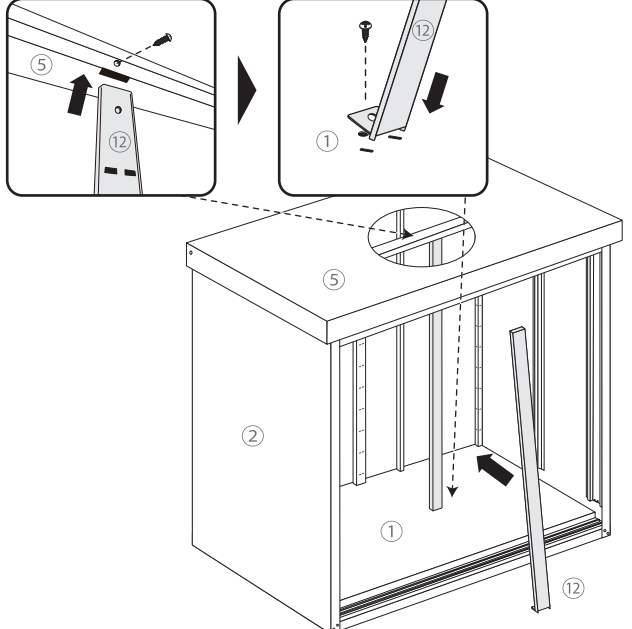
4 ⑥背板(左)と②側板(左)を、⑭ビスで固定します。同様に⑥背板(左)と⑦背板(中)、⑦背板(中)と⑧背板(右)、⑧背板(右)と③側板(右)を、⑭ビスで固定します。
※ ⑭ビス 12 箇所



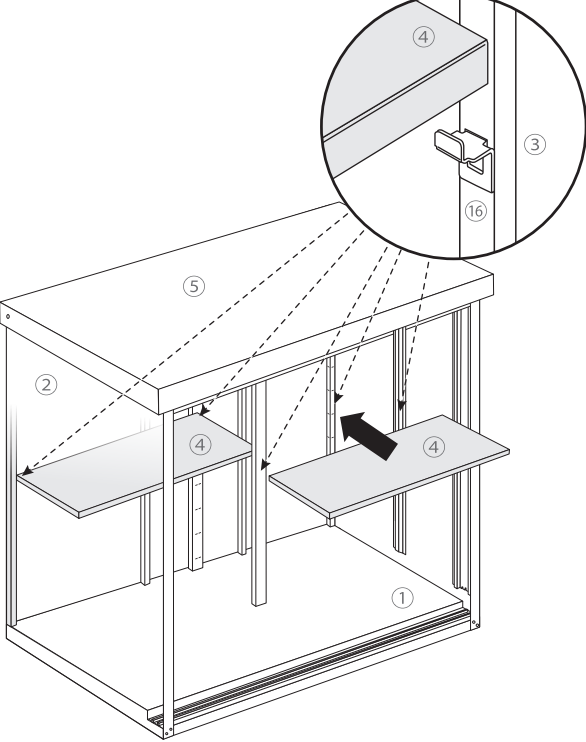
5 ⑮転倒防止金具の取付け穴が後にくるように⑤天板を上を被せ、⑤天板と⑥⑦⑧背板、⑤天板と②③側板を⑭ビスで固定します。
※ ⑭ビス 10 箇所



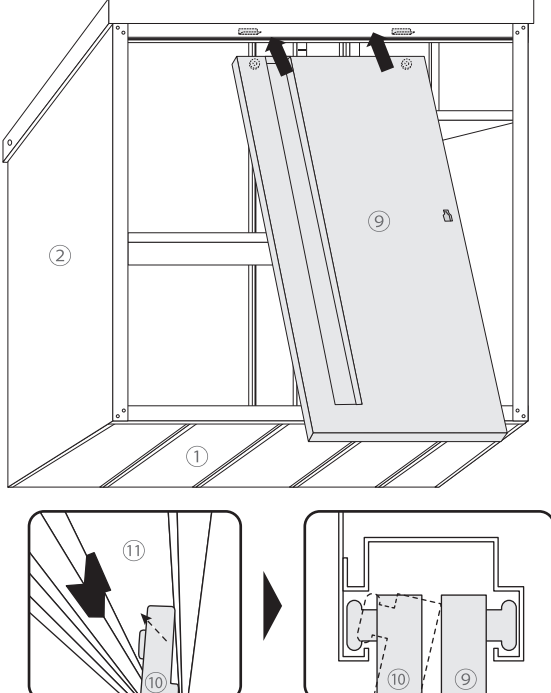
6 ⑤天板中央の穴に⑫棚掛用柱の上部を差し込みます。同様に①底板の中央の穴に、⑫棚掛用柱の下部を差し込みます。⑤天板と⑫棚掛用柱、①底板と⑫棚掛用柱をビスで固定します。
※ ⑭ビス 2 箇所



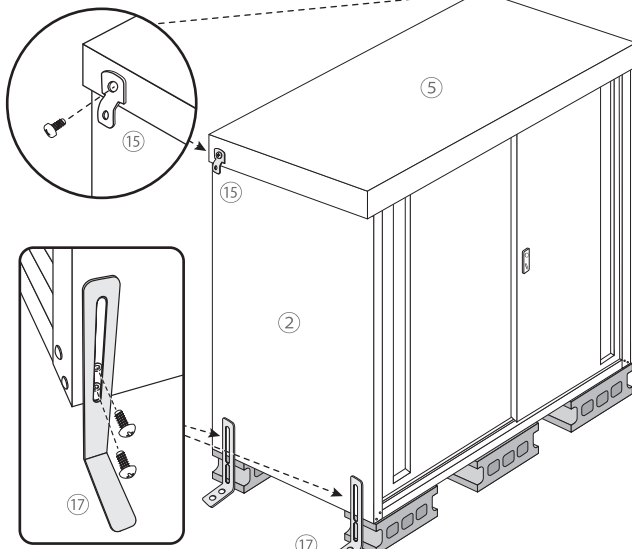
7 お好みの高さに⑯棚受金具を、⑥⑦⑧背板と、⑫棚掛用柱の 8 箇所に取り付け、④棚板をセットします。



8 ⑨扉(左)から⑪天レールに差し込み、ローラーをはめ込みます。同様に⑩扉(右)もはめ込みます。



9 ⑮転倒防止金具を 2 箇所に取付け、⑬ネジで固定します。建物など強固な物にワイヤーなどで固定して転倒防止の処置を行ってください。収納庫を設置する際は、6 箇所にブロックを配置してください。収納庫と⑰アンカーを⑬ネジで固定し、市販のアンカーボルト等で地面に固定してください。
※ ⑬ネジ 10 箇所





使用上の注意 (収納庫用)

ご使用の際は、下記の注意事項を守って安全にご使用ください。



警告 記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

- 屋上、ベランダの手すり側、崖の縁等、強風により転倒や転落の恐れがある場所への設置はおやめください。
また、設置の際には必ずアンカー等により転倒しないような処置をしてください。
- 収納庫の屋根には絶対に乗らないでください。
転落の恐れがあります。
- 積雪時には安全のため、早めに雪下ろしを行ってください。
なお、雪下ろしの際には、収納庫の屋根には絶対に乗らないようにしてください。
- 収納庫の屋根の積雪耐荷重の目安は、新雪で約20cmです。
これ以上に雪が積もらないようにしてください。



注意 記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。

- 収納庫の外壁や扉に物を立て掛けないでください。
また、屋根の上に物を載せないでください。
- 収納庫をむやみに改造したり、物の収納以外の用途(住居、犬小屋、作業場等)で絶対に使用しないでください。
- 棚板、床板の規定荷重を守ってご使用ください。
棚板 耐荷重：(FSW11G, FSW12G, FSW34G) 40kg、(FSW17G) 30kg
床板 耐荷重：80kg
※ 棚板耐荷重は総荷重ですので、棚板を複数枚取付ける際も規定荷重を超えないようにご使用ください。
また、棚板及び、床板に荷物を載せる際は1箇所につき、重さが均等になるように載せてください。
- 収納庫内は高温になったり、結露する場合がございます。
貴重品や高額商品、熱や湿気に弱い物は収納しないでください。
- 収納庫は物の出し入れ以外の時は、きちんと扉を閉めて鍵をかけてお使いください。

ロット番号

品 番

 **アルインコ株式会社**

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1

お客様相談室 ☎ 0120-302-669

10:00～16:00

ただし12:00～13:00及び土・日・祝を除く